

[参考] 先月からの主要変更点

	10月月例	11月月例
基調判断	<p>景気は、<u>堅調に回復している。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>輸出、生産は緩やかに増加している。</u></li> <li>・企業収益は大幅に改善し、設備投資は増加している。</li> <li>・個人消費は、緩やかに増加している。</li> <li>・雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善している。</li> </ul> <p>先行きについては、国内民間需要が着実に増加していることから、景気回復が続くと見込まれる。一方、原油価格の動向が内外経済に与える影響や世界経済の動向等には留意する必要がある。</p>	<p>景気は、<u>このところ一部に弱い動きはみられるが、回復が続いている。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業収益は大幅に改善し、設備投資は増加している。</li> <li>・個人消費は、緩やかに増加している。</li> <li>・雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善している。</li> <li>・<u>輸出は弱含み、生産は横ばいとなっている。</u></li> </ul> <p>先行きについては、国内民間需要が着実に増加していることから、景気回復が続くと見込まれる。一方、原油価格の動向が内外経済に与える影響や世界経済の動向等には留意する必要がある。</p>
政策態度	<p>政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2004」の早期具体化により、構造改革の取組を加速・拡大する。</p> <p>政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行うとともに、集中調整期間終了後におけるデフレからの脱却を確実なものとするため、政策努力を更に強化する。</p>	<p>政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2004」の早期具体化により、構造改革の取組を加速・拡大する。</p> <p>政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行うとともに、集中調整期間終了後におけるデフレからの脱却を確実なものとするため、政策努力を更に強化する。</p>

各論

	10月月例	11月月例
輸出	<u>緩やかに増加している。</u>	<u>このところ弱含みとなっている。</u>
生産	<u>緩やかに増加している。</u>	<u>横ばいとなっている。</u>

(注) 下線部は、先月から変更した部分。